

# I 子育て準備期中・高校生、まもなく親になる方を対象にしたプログラム

## I-2 子どもをもつということ

対象：子育て準備期の世代30人程度  
時間：40分～50分程度

ねらい	「子どもをもつ」「親になる」ということについて、様々なケースを知ることで、各自が考える「子どもをもつことの意味」を、ワークを通じて深めていく。			
実施のポイント (評価など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループでの意見を共有するとともに、特に参加者各自の考えを深めることができる。(ワークでは自分の言葉で記入する時間をしっかりと設けるようにする。)</li> <li>○ 子どもをもつ(親になる)ということについて、ワークを通じて考えを深めることができる。</li> </ul>			
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あらかじめ4人程度のグループに分かれておく。</li> <li>○ じっくり自分の考えに向き合えるよう、落ち着いてワークできる環境を整える。</li> <li>○ 資料                      ○ 名札                      ○ 筆記用具</li> </ul>			
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物	
<b>導入</b> 10分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて考えを出しやすい雰囲気をつくる。</li> <li>・自己紹介により互いに親近感がもてるようにする。</li> </ul>	名札	
<b>展開</b>	10分	<b>ワーク1</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エピソード文を読む。</li> <li>・記入欄に自分の考えを書く。</li> <li>・グループで話し合う。</li> </ul>	◎「親の役割」について考えることをねらいとする。	
	15分	<b>ワーク2</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詩を読む。(進行者が読む、又は黙読)</li> <li>・記入欄の質問①に感じたことを記入する。</li> <li>・詩のエピソードを進行者が紹介する。</li> <li>・記入欄の質問②に感じたことを記入する。</li> </ul>	◎親の「子どもへの思い」について、段階(質問1→エピソード→質問2)を経て参加者の考えを深めていくことをねらいとする。 ・時間があれば、グループでの話し合いを行う。	資料1(詩のエピソード)
	5分	<b>資料紹介</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を進行者が読む。 ※記述はしない。</li> </ul>	◎資料紹介では「子どもができる」ということが、社会的には当たり前と思われる傾向があること、決してそれは当たり前ではないことを考えてもらうことをねらいとする。 ・「子どもを望みながら叶わない」ケースの体験談などの資料を紹介する。	資料2(新たな視点の資料)
<b>まとめ</b> 10分	<b>ふりかえり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の思いを記入する。</li> <li>・発表し合い共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの話し合いを行う。</li> </ul>		